

地域づくり

通信
第22号
平成27年1月

おとなりから学ぶ!

地域防災の コツ

H26年12月に発表された政府の地震調査委員会の「全国地震動予測地図」によると、**今後30年以内に横浜市で震度6弱以上の地震が発生する確率は、78%**と高い予測がされました。

東日本大震災以降、各地域では災害に備え、様々な工夫をして防災に取り組んでいますが、「従来の防災訓練等で本当に十分なのだろうか?」「共助が大切と言われるけど、自治会では具体的にどんなことをしたらいいんだろう。」といった声が区役所に寄せられています。

本号では、地域での防災の特長的な取組を「地域防災のコツ」としてご紹介します。また区役所が開催する講座もあるので、今後の活動の参考にしてみたいはいかがでしょうか?!



想像する・考える コツ

「DIG、HUG訓練」



準備・備えの コツ



「地域防災備蓄庫の整理」



「地域防災総合講座」

学びの コツ



地域防災のコツ

コツ 1 災害を具体的にイメージする

H26年11月にひなた山第一自治会でDIG訓練を実施しました。身近なところで起こるかもしれない災害を、より具体的なものとしてとらえるために、参加者が大きな地図を囲み、みんなで書き込みを加えながら、ワイワイと議論して災害時の対応を考えました。

ひなた山第一 自治会 DIG訓練

災害時、役立ちそうな場所にシールを貼って、みんなで共有しました。



「自治会の実態に合った訓練だったので、自分で考え、地域の状況を再確認できたことで、防災意識の向上につながりました。」



DIGって?

DIGとは、Disaster(災害)、Imagination(想像力)、Game(ゲーム)の頭文字と動詞のdig「掘り起こす」を掛け合わせたもので、「災害を理解する」「まちを探求する」「防災意識を掘り起こす」という意味が込められています。

コツ 2 避難所の運営を考える

H26年11月に瀬谷第二小学校と瀬谷さくら小学校地域防災拠点が、初めて合同でHUG訓練を実施しました。避難所(地域防災拠点)の運営をするために、避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを皆で考え、議論しました。

瀬谷第二小&瀬谷さくら小 地域防災拠点 HUG訓練



避難者の事情が書かれたカードを前にどう対応していくか考えてみました。



「両拠点は同じ瀬谷第二地区内、今後も連携していきたいですね。」

HUGって?

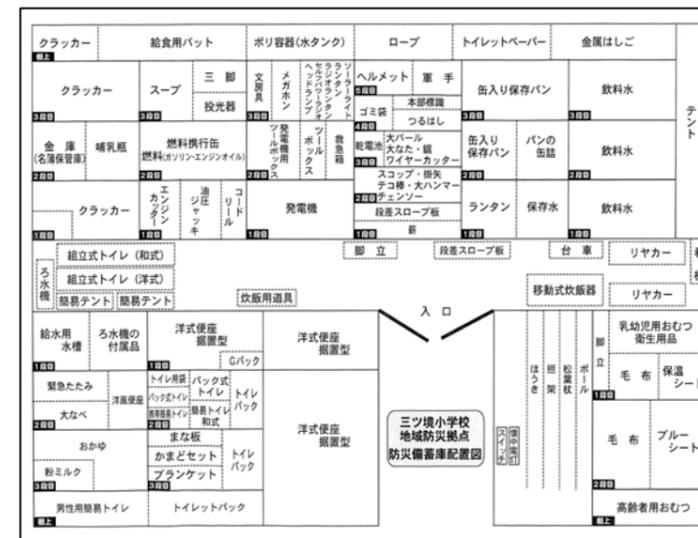
HUGとは、Hinanzyo(避難所)、Unei(運営)、Game(ゲーム)の頭文字を取ったもので、英語で「抱きしめる」という意味です。避難者を優しく受け入れる避難所のイメージと重ね合わせています。

コツ 3 地域防災備蓄庫を整理する

各地域防災拠点には、災害時に備え、食料や資機材などの備蓄物品を保管する「地域防災備蓄庫」があります。ところが、「どこになにがあるかわからない」「この資機材は本当に動くの?」といった声がよく聞こえてきます。

三ツ境小学校地域防災拠点では、「防災備蓄庫配置図」と「保管物一覧」を独自に作成し、備蓄物品を整理整頓して、管理しています。

防災備蓄庫配置図



備蓄物品の配置図。これでだれでも備蓄物品がどこにあるか一目瞭然。洋式便座など三ツ境小防災拠点独自で備蓄しているものも。

保管物一覧

品目	数量	品目	数量
発電機	5台	移動式炊飯器	1式
燃料(ガソリン)オイルフルボックス	1台	燃料(ガソリン)灯油	1式
ガス式発電機	1台	組立トイレ(和・洋)	2基
カセットボンベ	12本	バックスタイル	6個
暖房機	5台	バックスタイル用袋	22個
コードリール	5巻	トンボ洋式据置型便座	10個
エンジンカッター	2台	セキスイ洋式ポータブル便座	1個
燃料(混合油)・オイル	1箱	ヤニタリクリーン 乾式便座	1個
防音機	2個	アロン化成サニタリ洋式便座	1個
夜手袋	2箱	サンコー標準型トイレ	1個
レスキュージャッキ(油圧)	1個	湯煎用 ニード (300色)	10箱
ハンドマイク(メガホン)	2個	湯煎用 ニード (300色)	8箱
ロープ	5巻	湯煎用 コアブル (100色)	1箱
ワイヤーカッター	5本	湯煎用 Gバック	17箱
つるはし	5本	大人用 紙おむつ	540枚
大ハンマー	5本	幼児用 紙おむつ	1350枚
スコップ	5本	生活用品	425個
毛布	5本	トイレペーパー	192巻
ブルーシート	5本	緊急量(5歳)	10m
毛布	5本	かまどセット(大童)	2基
ブルーシート	5本	大鍋	2個
高齢者用おむつ	5本	多量型	2枚
台車	1台	段差スロープ板	2枚
自車	1台	即立	1基
ツールボックス	2セット	ヘルメット	10個
		自車	1台
		ツールボックス	2セット

備蓄物品の数量と資機材の動作状況が確認できる一覧表。年に1回、秋季防災訓練前に管理情報班約20名で点検しているとのこと。

三ツ境小学校地域防災拠点 管理情報班 班長 白川一義さん



「この保管物一覧表で毎年備蓄物品を点検しています。」

現役時代は、工場に勤務していた白川さん。「整理整頓は安全の基本」と体に染みついている経験を活かし、防災備蓄庫の配置図、保管物一覧を作成しました。「前任者もきっちりしていて、もともと整理されていました。私はそれに加え、どこになにがあるか誰でもわかるようにただけです。この配置図も班員の方に作成してもらいました。」と話す白川さん。

ただ「以前に比べて備蓄数が増えて充実していくのは嬉しいのですが、倉庫が手狭になってきました。」との悩みも。

とてもきれいに整理されいてわかりやすいね
自治会等の倉庫の整理の参考にもなるかもね!



地域防災総合講座

参加費無料
事前申込不要

「自治会で防災活動するにはどうしたらいいの?」「防災に取り組むにあたっての気を付けるべきポイントは何?」など、疑問をお持ちのみなさん、ご安心ください。瀬谷区役所では、幅広い防災知識を身に着けていただくため、「地域防災総合講座」を年6回開催しています。これからの防災活動の参考となること間違いなしです!是非ご参加ください!

第5回 災害時要援護者支援と個人情報

災害時要援護者の支援や安否確認をするためには、名簿の作成が有用とされています。でも、個人情報の取り扱いが不安だったり、難しい感じがしますよね。

この講座では、要援護者の個人情報を適切に保護するための守るべきルールやその情報を活用するための心構えを学ぶことができます。

日時 平成27年1月29日(木)午後7時から午後9時まで

講師 山崎 栄一 氏 (関西大学社会安全学部准教授)



第6回 地域防災力向上のポイント

東日本大震災から4年、今も日本各地で地震が発生しています。いつ起きても不思議ではない大地震に備え、もう一度ご自身の心構えや地域の取組について考えてみましょう。

この講座では、共助の基盤である「地域のつながり」を強化するための具体的な取組例や、「地域防災の担い手」をどのように確保すべきかなど、地域防災力向上のポイントについて学ぶことができます。

日時 平成27年3月19日(木)午後7時から午後9時まで

講師 佐藤 栄一 氏 (我聞塾主宰、(財)消防科学総合センター客員研究員)



<これまでの参加者の声>

- ・お話を聞き、大いに感銘を受けました。防災は、自ら取り組まなければならないと改めて感じました。
- ・地域防災拠点関係者として、防災に携わる人をはじめ、地域住民に防災意識を高めることがいかに大切かを痛感しました
- ・大変参考になりました。大人だけでなく子どもたちにも知ってほしい情報でした。 …etc.

防災訓練・講座など防災に関する
お問い合わせは総務課危機管理担当まで。
TEL:045 - 367 - 5611



発行者
瀬谷区役所地域力推進担当
TEL 367-5789
〒246-0021
横浜市瀬谷区二ツ橋町190
発行 / 平成27年1月